

化のため収益がはかばかしくなかつたからでしょう。

新年度の経済見通しはどうか。それは民間需要が高まつたところから出発するでしょう。消費も多く、設備投資も高まるでしょう。このまま推移すれば、経済成長率は41年度とほぼ同様になります。然し適正な成長率は7.2%と言われますからむしろ心配です。政府も新年度予算は5兆円以内に、又国債は7900億円に止める等慎重な態度です。今年は民間が景気をリードするとは考えられません。従つて今年は経済の安定立て直しの年であり、息の永い安定成長が望まれます。次に問題点が三つあります。

1. 国際収支について 輸出は恐らく伸び悩むでしょう。赤字とみる向きもあります。ベトナム特需も問題です。函館で現在フル操業をやつているところでも、次に如何にして撤収するかと考えています。油断は出来ません。
2. 労働受給の逼迫 特に若手(中卒と高卒)と技能労働者が不足してゆきます。これから事務系の大学出が多くなりますが、それを加えても足りません。求人不足は賃金高を招き、企業はコスト高となり、物価上昇につながります。中高年者の活用やパート制が考えられてゆくでしょう。函館の地位低下の理由の一つは、労働力の活用の不味さから来ていると思います。
3. 物価問題 これは根強くじりじり上昇するでしょう。卸売物価が既に5%上昇しています。特に鉄の値上りは著しく、繊維も値上りして来ました。鉄と繊維が上れば必ず物価が上ると言われるので注意しなければなりません。今後何よりも大切なのは企業の体質改善であると思います。企業の経営者に強く望まれることは、計画と経理をしつかり身につけておくことです。売つただけあれば良い時代ではありません。競争はますます激しくなります。当然企業の提携、合併、新分野の開発(商圏の拡大)等を考慮しなければなりません。函館は中小企業が多いわけですが、フェアな競争なら良いが、過当競争はいけません。大企業でも進出して来たら大変なことになる。良きリーダーを育てもり立て、高い見地から、仲良く手を携えてやるべきです。青函トンネルは、函館が交易経済の拠点都市となる有利な材料です。函館は決して斜陽ではなく、良い素質を持っていると思います。函館の都市造りのビジョンを、かけ声だけではなく、出来るものから一步一步着実にやつてほしいものです。最後にナポレオンの「午前3時の勇氣」を引用させていただき、皆様の御努力をお願いする次です。

出席報告

1. 本日の状況 会員数27名 出席20名
2. 前回の確定出席率 81.48% (27名中22名出席)
3. 他クラブの状況 函館89.72% 函館東92.21%



通算才151号

1966~1967-2-8

函館北ロータリークラブ

第135回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

本日のプログラム

会員卓話

野村宣市君

- 司会 成田副会長
- 斉唱 手に手つないで
- ビジター 谷義一君(森電気工事)
藤岡秀彦君他9名(函館) 釣谷尙君他14名(函館東)

成田副会長挨拶

塚田会員が長い療養生活を克服され、再び例会に出席されたのは大変喜ばしいことです。今後のご自愛をいのります。

新会員挨拶

当クラブは発足時から良い出席率をあげるのには困難なメンバーでありましたが、予期以上に成績が悪くお叱りを受けておりました。然し前々回送に100%をやり、いささか気を良くしています。又当クラブはビジターが沢山お出で下さるおかげで世間並みの会合が出来ます。本日は会場も一杯で、相撲で言えば満員御礼の垂れ幕が出るころ。又併せて塚田会員の病氣回復をお祝いし、皆様と共に乾盃致したいと存じます。...乾盃.....

幹事報告

1. 1968~69年度R.I.会長に日本から始めて東ヶ崎潔氏が指名されました。関係のパンフレットを回覧します。
2. 3月7日にエバンス会長が350地区を訪問されます。各クラブより多数の参加(出席義務者3名)が要望されており、メークアップにもなります。14時から会長講演、18時からグランドホテルで歓迎会(会費2千円)があります。又会員1名宛50円を送付することになっています。
3. 「ロータリーの理想と友愛」(ポールハリス著、米山梅吉訳、400円)御希望の方は幹事まで。これはポールハリスの思想とロータリーの真髄を知る有益な書です。又小冊子「よい応待・電話のかけ方」見本があります。
4. 例会終了後理事会を行ないます。

ニコニコ箱

1. 塚田会員 御病氣快癒おめでとございます。
2. 成田副会長 全国日の丸会より表彰を受けました。

会員卓話

自然雑感

船矢健喜智君



通算才152号

1968-1969-2-15

函館北ロータリークラブ

第136回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

本日のプログラム

函館3クラブ合同例会

(ロータリー創立記念日に因んで)

- 司会 飯田会長 斉唱 奉仕の理想
- ビジター 蜜田秀之君他8名(函館) 和田吉平君他18名(函館東)
- 会長挨拶

本日は3名の新入会員を迎え誠に喜ばしい次才です。当クラブも先日100%出席をやりましたし、優秀な新人を得てますます向上するでしょう。

幹事報告

1. 本日の例会終了後理事会を行ないます。
2. 本日午後6時より人川でクラブ・アツセンブリーを行ないます。
3. 来たる23日はロータリーの創立記念日に当たりますので、22日の例会を繰り下げ、23日に五島軒で合同例会を行ないます。

会員卓話 "なぞのはなし" 野村宣市君

昔から「幽霊が出る」とか「狐に騙される」とか言われます。文明の進んだ現代では「そんなバカなことを」と笑われるでしょうが、私は子供の頃経験したことがありますし、又皆さんも多分経験をお持ちのことと思います。

私の生まれは富山県の新湊の海岸です。私が尋常1年生(約50年前)で、漸く5場の電燈がバラバラつき始めた程度で、夜も暗かつた頃のお話です。父が骨折しました。医者がいないので、1里位離れた田舎のお寺の骨接ぎのお坊さんの所に通いました。上手なので患者が殺到し、帰りは夜になります。途中にお定まりの火葬場があり、「火の玉が出る」とか「提灯の火が消える」とか言われていました。ある夜10時すぎのこと、車に父を乗せてひつばつて火葬場に近付くと、突然提灯の火が消えました。びっくりぎょう天した私達親子は、速くに見える灯を頼りに一目散に逃げました。あの時何故提灯の火が消えたのか、私には未だになぞです。

次は18、9才の頃の記憶です。当時はとつた魚を車に積んで富山に売りに行っていました。帰りは必ず夜になり、又途中に火葬場があり、1人で帰ると必ず迷うと言われられていたので、数人まとまって帰つたものです。

終戦間もない頃、銚子口付近でひどい毛虫の大群に襲われたことがあります。多分その年は付近の広葉樹は全滅するだろうと想像していました。ところが、秋に同地を訪れてみると葉がやや少ない程度で、想像したような被害もなく終わっていました。一体あの毛虫の大群はどうなつたのでしょうか。同じ頃北海道全域にわたつてプランコ毛虫の大発生をみましたが、それも忽然として姿を消しました。数年後野幌の道林業試験場の意見を又聞きしましたが、毛虫の密度が異常に高まると毛虫同士の体が触れ合う機会が多くなり、そのため毛虫の間にバクテリア病が急激に蔓延したのだろうとのことでした。

又5年程前、道南でから松の先枯病が蔓延し始めましたが、決定的な対策も無いままに経過して来たところ、2年程前より自然に回復して来ました。逆に戦後非常によい殺鼠剤が出来たので、営林局ではこれをから松殖林の大敵である野鼠の撲滅に使つてみたところ、結果は全く予想に反したことがあります。殺鼠剤により一時的に鼠が減少しても、すぐあとで反動的に増加しました。結局現在では自然にまかせていますが、殖林の鼠による被害は昔と変わりません。

生物の世界では弱肉強食の現象が絶えず行われています。然し強者が食い、弱者が食われて、一時的にその数が増減しても、長い間の結果に於いてはどちらも常に同じ生存率を維持するものであることを教えられます。これを「自然の平衡」と呼びます。一方自然の変化、例えば森林を伐切し、新しい樹種を殖え変えたり、畑にする等のことで、その地方の野生動物の分布を大きく変えます。自然では、ある動植物だけを増減させるのは非常に難しいが、ある一角が何かの力で変ると、それにつれて総ての生物の平衡関係が破れ、新しい均合のとれた平衡関係に落付く迄、全分野に涉つて変化を続けるようです。

吾々の社会を眺めても同様です。ある業種に好況の声が聞かれると必ず同業者が増え、生産が急増したり類似品が進出したりして、いつ迄も好況のままにしておかないようです。逆に不況のどん底にあえぐ業種でも、峠を越せば何とか生きて行くだけの道は開けるようです。つまり「自然の平衡」です。従つて景気の予想も、単純に一つの原因対一つの結果だけで判断出来ぬようです。

0追加 医師の専門科と自然の平衡について(遠藤会員)

天の配剤 — から松の先枯病とくぬぎの害虫(新会員)

出席報告

1. 先週の確定出席率 88.89% (27名中24名出席)
 メーク・アップ 会長 飯田君 平野君 青柳君 戸栗君 山内君
 欠席者 藤野君 木屋君 森君
2. 他クラブの状況 函館96.26% 函館東96.1%